

1 施策の評価結果等一覧

政策1 一人ひとりが担い手のまち【市民生活】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
1	1-1-1	市民協働課	市民主体のまちづくりに関心のある市民の割合		%	市民主体のまちづくりに関心のある市民の割合(市民意識調査)	44.6	60	44.7	やや遅れている	市民活動センターの事業の充実や登録団体の育成を進め、市民同士のつながりを強化することで、市民の意識の醸成を図る必要がある。	44.8	-	-	-	44.7
2	1-1-2	市民協働課	市民協働の市政運営の施策に対する市民満足度		%	市民協働の市政運営の施策に不満を持っていない市民の割合(市民意識調査)	-	60	43.2	やや遅れている	提案型協働事業やパブリックコメント、各種計画策定委員の公募など、市民が市政運営に参加する機会をさらに設ける必要がある。	46.4	-	-	-	43.2
3	1-1-3	市民協働課	地域活動に参加している市民の割合	I	%	地域活動に参加している市民の割合(市民意識調査)	-	50.0%以上	52.6	順調	地域活動において重要な役割を担っている町内会と情報共有し連携を図るため、引き続き結ネット等の利活用を進める。	52.8	-	-	-	52.6
4	1-1-3	市民協働課	市内のNPO法人組織数	I	団体	市内に拠点を置くNPO組織数の増加	4	10	10	順調	自発的に活動する市民が、市内を活動拠点として、NPO法人を設立している。	10	9	9	11	10
5	1-1-3	市民協働課	協働事業実施団体		団体	市民協働に取り組む団体の増加	-	30	33	順調	提案型協働事業を中心に、さまざまな団体が協働事業を行っている。			21	27	33
6	1-1-4	市民協働課	集会所を有している町内会数	I	町内会	集会所設置を支援し、町内会のコミュニティ活動を促進(町内会数54町内会)	34	42	41	順調	集会所を有している町内会数に変動はないが、町内会活動の一層の推進のため、建て替えを行う町内会があった。	40	40	41	41	41
7	1-1-5	企画課	大学と行政の協力事業数		件/年	大学と行政が力を合わせて地域の発展のために行う事業数の増加	77	125以上	143	順調	事業数は増加傾向にあり、大学との連携は順調といえる。今後は、カレードやカミーノを活用した事業も検討する。	118	124	146	138	143
8	1-1-5	企画課	各種統計データや行政情報の公表	I	回/年	統計データ活用の促進	0	1回以上	0	おおむね順調	統計調査の結果の公表がなかったため、実績値は0となった。現在、市ホームページにて公表している統計調査の結果は国勢調査及び経済センサス活動調査のみであるが、その他の統計調査の結果も公表していく。			0	1	0
9	1-1-6	企画課	情報通信システムを活用した市民活動団体数		団体	情報通信システムを活用した市民活動団体数を増加し、市民全体の情報活用能力を向上	1	5	27	順調	市や54町内会を支える会の取組により電子版の回覧板等の機能を有するアプリを導入する町内会が増えたことにより、団体数が増えた。 団体内訳：ハルの会、カフェあやめ、のいちばぐ.net、54町内会を支える会、結ネットを利用する23町内会	3	4	4	13	27
10	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館蔵書数	I	冊	地域の課題が解決できる資料の提供と蔵書の充実	-	200,000	192,324	順調	年16,000冊ずつ増やしていくという当初の予定を満たしており、順調に進んでいる。			154,656	174,410	192,324
11	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館貸出登録者数	I	人	潜在的な利用者の呼び起こし	-	15,000	18,892	順調	貸出登録者数は高水準を保っている。なお、令和元年度以降の実績値は、全登録者のうち過去12か月間に図書を借りた者の数(有効利用者数)を示している。			14,615	24,761	18,892
12	1-1-7	生涯学習課	新市立図書館等利用者数	I	人/年	ヒト・モノ・コトの交流の促進	-	300,000	468,474	順調	利用者の利便性を重視した施設運営、豊富な図書や魅力的な催事により、来館者数は高水準を保っている。			219,350	502,450	468,474
13	1-1-7	生涯学習課	新中央公民館利用者数	I	人/年	ヒト・モノ・コトの交流の促進	-	55,000	57,486	順調	オープン初年度であったこともあり、利用者数は予想を上回る結果となった。登録サークル活動も活発化している。(H31.4月29団体→R2.4月34団体) ※平成30年度の数値はオープニングイベントの参加者数			-	5,000	57,486
14	1-1-7	企画課	地域中心交流拠点施設を活用した大学連携事業	I	件	地域中心交流拠点施設を活用した大学連携事業	-	3	1	おおむね順調	学生が地域課題の解決策を検討する金沢工業大学の「プロジェクトデザインII」の成果発表会について、カミーノで初めて実施し、広く学生との活動を周知することができた。			0	0	1
15	1-2-1	文化課	郷土芸能伝承団体への支援	I	団体	継続的に郷土芸能を伝承している団体数の増加	24	25	24	おおむね順調	郷土芸能を伝承している団体への支援を継続して行い、活動維持に努めていく。	24	24	24	24	24
16	1-2-1	文化課	市指定無形文化財の件数	I	件	市内に伝わる特に重要な伝統行事の件数増加	1	4	1	やや遅れている	市内の伝統行事を継承するため、今後も調査を継続し、指定件数増に努めていく。	1	1	1	1	1
17	1-2-2	市民協働課	アダプトプログラム登録団体数	I	団体	アダプトプログラム登録団体数の延べ団体数	-	50	44	おおむね順調	地域の企業や団体に対して、アダプトプログラムへの参加を促す取り組みを充実させる必要がある。			43	43	44

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
18	1-2-3	企画課	移住を促進する支援策を利用した移住者数	I	人	移住を促進する支援策を利用した移住者の5年間の延べ人数	-	50	112	順調	勤労者自己住宅資金利子補給制度により、新築物件の購入や建設を促した。また、東京で開催されたJOIN移住・交流&地域おこしフェアに石川中央都市圏全体で出展し、移住を検討している方へ当市の魅力を発信した。			28	61	112
19	1-3-1	市民協働課	多文化共生事業の実施回数		回/年	多文化共生の地域づくりを進めるための取り組み回数の増加	0	5	4	おおむね順調	年度末に実施予定のサロン事業が新型コロナウイルス感染拡大防止で中止となった。国際交流員による定期事業を実施した。国際交流員の活用により、継続して魅力ある事業が実施に努めていく。	3	3	6	7	4
20	1-3-1	市民協働課	多文化共生事業への参加者数		人	多文化共生の地域づくりに関心を持つ市民の増加	0	1,000	2,827	順調	国際交流員による定期事業の実施、他市町村GIR(国際交流員)やNPO等と連携・協働して事業を行ったことで、参加者数を伸ばすことができた。幅広い世代の市民が参加しやすい事業の企画・実施に努めていく。	184	197	778	1,869	2,827
21	1-3-2	学校教育課	学生訪問団の相互訪問の継続		回	児童生徒の異文化体験機会の継続	2	2	1	順調	中国深圳小学との教育交流を継続し、国際理解教育を推進する。令和元年度は深圳小学からの訪問団を受け入れた。	1	2	1	1	1
22	1-3-2	市民協働課	市内のホストファミリー経験世帯数(累計)		件	異文化体験への関心の増加	181	250	253	順調	JAPAN TENTからの留学生、姉妹都市であるギズボン市から派遣された高校生を受け入れた。ホストファミリーへの補助やサポートの拡充に努めたい。	223	224	239	244	253
23	1-3-3	市民協働課	野々市市国際友好親善協会の会員数	I	人	国際交流に関心を持つ市民の増加	58	100	69	おおむね順調	事業参加者への呼びかけや、地域イベント等での活動PR、SNSを活用し、会員数を伸ばすことができた。	48	48	50	56	69
24	1-3-3	市民協働課	野々市会の会員数	I	人	本市の魅力向上と本市にふるさと意識を持つ方々の増加	53	100	67	やや遅れている	市の魅力を全国に発信するため、両野々市会と引き続き連携していく。会員同士の交流を深め、会員のネットワークを活かして広く周知できるよう努める。	75	76	72	71	67
25	1-4-1	市民協働課	審議会などへの女性の登用状況		%	政策方針決定過程への女性の参画拡大	31.1	50.0	30.7	やや遅れている	施策立案過程において、女性が参画する必要性の意識は醸成されつつあるが、指標への反映はあまり進んでいない。今後も男女共同参画意識の啓発に努める。	29.7	29.6	29.6	29.8	30.7
26	1-4-1	秘書室	本市の課長相当職以上の女性登用状況		%	役職比率についての男女差の是正	26.1	34.0	27.7	おおむね順調	女性職員の年齢構成により登用率も変動する可能性が高く、現状として課長相当職以上に登用される年齢層の女性職員が少ないが、女性の登用について検討し、役職比率についての男女差の是正に努めている。	13.3	20	26.1	26.7	27.7
27	1-4-2	市民協働課	無料法律相談、市民なんでも相談の実施回数		回/年	人権課題などに不安を持つ市民に対する支援回数の増加	19	27	26	順調	相談件数の多寡に関わらず、受け入れ体制を整えておくことが重要である。定例市民なんでも相談は定期的に実施している。また、専門家への相談ニーズが高まってきていることから、無料法律相談は継続して実施する。	26	26	26	26	26
28	1-4-2	市民協働課	人権の花運動		回/年	思いやりの心を育む機会の提供	-	1	1	順調	人権擁護委員と児童で「人権の花」の苗植えを行うことで、児童が協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、自分や友達などの身近な人たちに対する優しい思いやりの心を持ち、人権思想を育む機会を創出している。			1	1	1
29	1-4-3	総務課	平和の旅の実施回数		回	生徒が平和を守ることの大切さを学ぶ機会の維持	1	1	1	順調	「平和の旅」終了後、参加生徒が学校の全校集会で旅の参加報告をしたり、旅の感想や写真を原爆パネル展にて展示している。今後も、生徒が平和を守ることの大切さを学ぶ機会を維持する。	1	1	1	1	1
30	1-4-3	総務課	原爆パネル展の会場数		箇所	市民の平和意識向上のための機会の増加	1	7	5	おおむね順調	令和2年度は、令和元年度の展示会場に加えて、カレードでのパネル展示を行い、より多くの市民の平和意識向上を図った。	5	5	4	5	5

政策2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
31	2-1-1	福祉総務課	地域ボランティアの人数	I	人	社会福祉協議会へのボランティア登録者数の増加	1,400	2,000	2,073	おおむね順調	社会福祉協議会への登録者数は目標値に達しているためおおむね順調とするが、ボランティアセンターによる登録者のマッチング機能が十分ではないので、機能の充実を強化していく必要がある。	1,916	2,311	2,051	2,064	2,073
32	2-1-1	介護長寿課	地域支えあいマップ作成数	I	町内会	全町内会でのマップ作成	2	54	20	やや遅れている	社会福祉協議会と地域包括支援センターが各町内会へ説明を行い、希望する町内会へ作成又は更新の支援を行っている。作成していない町内会へは引き続き周知を行う。	18	18	18	19	20
33	2-1-1	福祉総務課	生活困窮自立支援事業相談の充実	I	件	生活困窮者自立支援事業相談数	-	120	117	おおむね順調	目標値をほぼ達成しているためおおむね順調とするが、平成27年度に開始した事業であるため、市民や関係機関に相談窓口を更に周知していく。			72	96	117
34	2-1-2	保険年金課	一人当たり国民健康保険医療費		千円/年	医療費の適正化を維持	339	394	385	おおむね順調	令和元年度の医療費は前年度より1.4%の減となった。引き続き、疾病の早期発見・早期治療のため健診の受診率向上等医療費抑制に努める。	379	375	390	373	385
35	2-1-2	介護長寿課	65歳以上の介護保険認定率		%/年	介護予防を実施することで、推計値18.5%を下回る	15	18	14.4	順調	介護予防事業等の推進により、要介護認定者数の増加を抑制できている。	14.1	13.9	13.8	14.1	14.4
36	2-1-2	介護長寿課	介護保険一人当たり給付費		千円/年	介護予防を実施することで、推計値300千円を下回る	250	300以下	236	順調	介護予防事業等の効果により給付費の増加が抑制されている。	246	241	234	230	236
37	2-2-1	健康推進課	特定健康診査の受診率		%	健康に関心を持ち、健康診査を受ける人の割合の増加	44	65	54.5	おおむね順調	健康づくり推進員の訪問による受診勧奨等により受診率は向上している。令和元年度から医療機関の診察における検査データを特定健診データとして活用する事業を開始した。	53.8	54.4	51.4	54.0	54.5
38	2-2-1	健康推進課	特定保健指導の実施率		%	生活習慣病改善の必要な方への支援の増加(国の目標値を本計画の目標値として設定)	38	45	68.6	順調	地区担当制により丁寧に個別指導を行うことで、保健指導率を維持している。	68.8	68	69	68.8	68.6
39	2-2-1	介護長寿課	介護保険新規申請者の平均年齢		歳	健康づくりの推進により、介護保険適用の年齢上昇	81.3	82.0以上	81.8	おおむね順調	新規に要介護認定申請をするに至った原因疾患に多く見られる脳血管疾患、認知症の発症の予防のための生活習慣病対策や、関節疾患の予防のための対策、及び保険事業と介護予防の一体的な取り組み事業の実施により更なる推進を図る。	80.4	80.7	80.5	80.9	81.8
40	2-2-2	健康推進課	人口10万対診療施設数		施設	初期医療機関(歯科診療所含む)の施設数の維持	153	153	151	順調	令和元年度診療施設数は80件で診療施設数の増減は少ない。(内新規診療施設数3件、廃業診療施設数0件)	149	155	150	147	151
41	2-2-2	健康推進課	公立松任石川中央病院への紹介患者市民数		人/年	初期医療機関等から紹介された年間患者数の増加	1,590	2,000	1,761	やや遅れている	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、紹介患者数が減少している。	1,936	2,050	2,010	1,812	1,761
42	2-2-2	健康推進課	公立松任石川中央病院からの逆紹介患者市民数		人/年	初期医療機関等へ紹介した年間患者数の増加	1,452	2,000	1,853	おおむね順調	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、逆紹介患者数が減少しているが、減少幅は小さい。	1,559	1,852	1,996	1,949	1,853
43	2-3-1	介護長寿課	在宅福祉サービス利用率(紙おむつ)		%	サービス利用率の増加	-	50	53.6	順調	対象者を支援するケアマネジャーにサービスの周知がされており、サービスが必要とする高齢者に申請の推奨や手続きの支援が行われている。			49.8	59.1	53.6
44	2-3-1	介護長寿課	介護認定者の在宅率		%	安心して高齢期の生活ができる市民の増加	77.5	90	86.7	おおむね順調	在宅福祉サービスの充実及び利用の推進を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーと連携し、在宅生活の継続及び要介護状態の重度化予防を図る。	85.6	86	86	85.2	86.7
45	2-3-2	介護長寿課	認知症サポーター数	I	人	サポーター数の増加(人口比10%)	1,600	5,000	4,670	おおむね順調	地域住民や企業等からの依頼に対応し、認知症サポーター養成講座を開催した。引き続き依頼に対応するとともに町内会や企業などに働きかけ、講座を開催していく。	3,305	3,684	3,985	4,541	4,670
46	2-3-2	介護長寿課	地区包括支援センター相談件数	I	件	安心して在宅で生活できる高齢者の増加	232	350	867	順調	相談件数は年々増加しており、相談窓口としての周知ができていると思われる。引き続き、相談内容を分析し、地域における資源づくり等に活用していく。	177	43	516	601	867

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)					
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)	
47	2-3-3	介護長寿課	65歳以上のスポーツクラブ会員数	Ⅲ	人/年	スポーツクラブを通じた健康づくり、仲間づくりの推進(※目標値は、当初設定した目標値に市外の会員数が含まれていたため、適切な数値に再設定している)	750	600	630	順調	高齢者の健康づくり、仲間づくりの手段の一つとしてスポーツクラブも活用できるよう、今後も市フィットネス協議会との連携を図る。	477	529	595	513	630	
48	2-3-3	介護長寿課	老人会会員数	Ⅲ	人/年	活動的な高齢者数の増加	1,250	1,350	948	遅れている	老人クラブ加入者の減少は定年延長や趣味活動の多種多様化等が一因と思われる。老人クラブの活動が健康増進や生きがいづくりにつながるといった魅力をPRし、会員数の減少に歯止めがかかるよう支援する。	1,070	1,058	1,000	955	948	
49	2-3-3	介護長寿課	地域サロンの数	Ⅲ	箇所	地域でのつながりで、閉じこもりや体力低下を防止	15	30	24	やや遅れている	地域サロンの立ち上げを希望する町内会への支援や既存の地域サロンの継続支援を引き続き行っていく。	20	21	22	24	24	
50	2-3-4	福祉総務課	相談支援などの利用者数		人/年	相談などによる支援を増加し、安心して生活できる環境を整備	645	2,000	1,331	やや遅れている	身近な相談窓口として市内5か所に一般相談を委託しているが、目標値を下回っているためやや遅れているとする。障害のある方が相談しやすい体制を作り、周知していく必要がある。	1,642	1,112	1,330	1,283	1,331	
51	2-3-4	福祉総務課	サービス利用計画の作成数		人/年	適切な福祉サービスを受け、安心して暮らす市民数の増加	-	400	475	順調	サービス利用希望者全てにサービス利用計画の作成が出来ているため、順調とする。	378	399	420	448	475	
52	2-4-1	健康推進課	出生数		人/年	子どもを育てやすいまちとすることで、出生数を増加	602	680	618	おおむね順調	平成30年度より出生数は増加したが、目標値よりは少なくなった。近隣市町と同様、年々減少傾向にある。	679	648	676	554	618	
53	2-4-1	健康推進課	合計特殊出生率		人	子どもを育てやすいまちとすることで、合計特殊出生率を増加	1.65	2	1.81	順調	不妊治療費用助成、赤ちゃん訪問等の妊産婦への事業実施が合計特殊出生率の増加に寄与していると思われる。	1.69	1.69	1.69	1.69	1.81	
54	2-4-1	健康推進課	妊産婦、乳幼児健康診査の受診率		%	妊産婦、乳幼児健康診査の受診率増加	81	95	86	おおむね順調	妊産婦健診の里帰り健診助成を実施するとともに、乳幼児健診は母子保健推進員による未受診者への訪問で受診率向上に努めている。	92	83	79	83	86	
55	2-4-2	子育て支援課	子育て支援センター施設数		箇所	子育てに関する情報の提供と保護者の交流の場を増加	7	8	7	順調	親子の遊び場の提供や育児相談、子育てに関する情報提供等を行っている。若い子育て世帯の転入が多いため、今後も子育てに関する悩みの解消や交流の場を提供し子育て世帯の孤立を防ぐ。	7	7	7	7	7	
56	2-4-2	子育て支援課	子育て支援センター利用者数		人/年	子育てに関する情報の提供と保護者の交流の場の利用者を増加	32,458	40,000	29,832	おおむね順調	各種事業の参加人数は多く好評であるが、主な利用者は未就園児親子であり、未満児保育を充実したことが利用人数が減少した原因と考えられる。	33,664	31,441	29,992	29,891	29,832	
57	2-4-2	子育て支援課	ファミリーサポート登録者数		人	子育ての援助を行う市民の登録者数を増加	163	200	177	順調	活動件数は伸びており、認知度が向上している。親族の援助が見込めない家族が増えているため、気軽に利用できる体制を維持する必要がある。	172	188	202	184	177	
58	2-4-3	子育て支援課	児童相談窓口の設置数		箇所	子育て支援センター窓口で相談を実施し、相談体制を充実	2	9	7	順調	市内のすべての子育て支援センターに相談窓口を設置しており、相談件数も増えている。子育て世帯の転入が多いため、気軽に相談できる体制を維持する必要がある。	2	7	7	7	7	
59	2-4-4	子育て支援課	保育児童数		人	保育サービス充実による児童数の増加	1,680	2,100	2,225	順調	若い子育て世帯の転入が著しい。また、休業制度を利用している人の途中入園の児童数も大変多い状況である	1,997	2,090	2,117	2,100	2,225	
60	2-4-4	子育て支援課	児童館利用者数		人	児童の健全な遊びと健康増進施設の利用者増加	-	105,000	81,264	おおむね順調	学童クラブの増加により利用者数が減少傾向にある。利用者の増加のために、通例行事の他に5館合同の行事などを更に充実させ、新規利用者の確保に努める。				89,492	78,471	81,264
61	2-4-5	子育て支援課	子育て支援センター(子育て世代包括支援センター)利用者数	Ⅲ	人/年	包括的な子育てサービス提供の推進	-	14,000	13,596	順調	子育て支援センターにおいて、妊娠期から子育て期にわたる支援を行っている。今後は、子育て世代包括支援センターを設置し、包括的な子育てサービスの提供を更に充実させ利用者の増加を図る。				11,988	13,651	13,596
62	2-4-5	生涯学習課	放課後子ども教室参加人数	Ⅲ	人/年	放課後の子どもたちの居場所づくりの推進	-	160	139	おおむね順調	一部の教室では定員を上回り、抽選となったものもあった。				143	139	139
63	2-4-5	福祉総務課	子どもの学習教室の利用人数(延べ人数)	Ⅲ	人/年	生活保護世帯の子どもへの学習支援	-	60	27	やや遅れている	対象者自体が少ないため、個々の状況に合わせた開催方法の検討が必要である。				49	45	27

政策3 安心とぬくもりを感じるまち【安全安心】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
64	3-1-1	環境安全課	自主防災組織の数	I	団体	全町内会で結成し、地域防災力を向上	26	54	53	順調	54町内会のうち53町内会で自主防災組織が結成されており、自助、共助の取り組みが市民に浸透してきている。	47	49	51	53	53
65	3-1-1	環境安全課	地域防災リーダー数	I	人	自主防災組織における防災士数を増加	20	80	177	順調	防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとなって活動することにより、地域防災力の向上が図られている。	66	81	105	139	177
66	3-1-1	環境安全課	災害時応援等協定の締結数	I	団体	行政による防災力を強化	19	40	50	順調	災害時の迅速な応急復旧、円滑な避難所運営等を図るため、事業所等に働きかけ、協定締結に努めている。	39	42	47	50	50
67	3-1-1	環境安全課	地域の安全向上事業の個別事業の取り組み	I	件	さまざまな分野での地域防災力の向上	0	6	12	順調	地域防災力の向上を図るため、消防団の活動紹介や各種団体への防災研修、市民主体の防災訓練の打合せ会を実施するなど、市民自らが防災対策を実践できるような環境づくりを行った。			3	11	12
68	3-1-2	建築住宅課	住宅の耐震化に対する助成		件数	耐震改修等への助成による耐震化率の向上	-	30	10	やや遅れている	「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき、住まいの耐震化相談会を開催するなど耐震化の必要性に係る普及、啓発の取組みを進め、市内における更なる住宅の耐震化の促進を図る。			5	8	10
69	3-1-2	建築住宅課	避難所となる公共施設の耐震化率		%	耐震改修促進計画に基づく公共施設の耐震化率増加	90	100	97	順調	避難所となる公共施設について、建替えや避難所の見直し等により耐震化率の向上を図っている。	94	94	97	97	97
70	3-1-3	上下水道課	下水道幹線管路の耐震化率	Ⅲ	km	下水道幹線管路の耐震化延長	-	8.6	8.6	順調	下水道幹線管路耐震化工事の全計画延長が完了済みである。			6.2	8.1	8.6
71	3-1-3	上下水道課	配水本管の耐震化	Ⅲ	km	200ミリ以上の配水本管の耐震化延長	-	26	10.1	おおむね順調	鉄道敷の下越し管路や、重要給水施設へ続く管の上流部の工事ができており、順調に実施できている。			7.6	9.4	10.1
72	3-1-3	建設課	災害時多目的広場数	Ⅲ	箇所	災害時多目的広場として単独利用可能な場所の確保	-	1	0	おおむね順調	災害時に利用できる場所として3箇所確保しており、「30豪雪を検証する会」にて30豪雪での対応を報告した結果、現状で対応が可能ということが明らかとなった。なお、単独利用可能な場所は0箇所のため、「おおむね順調」と評価する。			0	0	0
73	3-2-1	建設課	警戒水位設定のための水位計の設置箇所		箇所	水害による被害軽減策の強化	0	6	2	おおむね順調	県が市内二級河川に設置した水位計(2基)の情報について、市水防体制に十分、活用できることが明らかとなったため「おおむね順調」と評価した。			0	0	2
74	3-2-1	環境安全課	消防団員の数		人	地域防災力の強化	105	130	118	おおむね順調	消防団のPR活動を実施するとともに、機別消防団員制度、消防団員運転免許取得支援制度を導入し、地域防災力向上の要となる消防団員の入団促進を図った。	112	110	118	119	118
75	3-2-1	環境安全課	救急救命講習会の開催回数		回/年	地域防災力強化のため町内会、事業所、学校での講習回数増加	80	100	73	おおむね順調	年間を通じて定期的な講習会を実施するとともに、事業所等に出向き講習会を実施している。講習を実施していない団体等に対して、新たに受講を働きかける。	59	58	60	67	73
76	3-2-1	建設課	監視箇所数		箇所	道路監視カメラ設置による早期の災害対応	-	8	5	おおむね順調	今後、土地区画整理事業や街路事業の施工に併せて、道路監視カメラの増設の検討を行う。			5	5	5
77	3-2-1	建設課	安全施設設置箇所		箇所	横断地下道出入口にバリケードや情報板の設置箇所増加	-	3	2	おおむね順調	現状は、電光掲示板および警戒標識の設置が完了している。今後、車両通行止め用バリケードの設置について、交付金の活用を検討して行く。			0	0	2
78	3-2-2	介護長寿課	福祉避難所数		箇所	避難行動要支援者を収容する避難所の増加	4	6	6	順調	福祉避難所として活用できる事業所に対しては、今後も引き続き協定締結への働きかけを行う。	6	6	6	6	6
79	3-2-2	環境安全課	災害備蓄食料等の備蓄率		%	地域防災計画に定める備蓄量に対する備蓄率の増加	85	100	100	順調	計画的な備蓄を行っている。	100	100	100	100	100

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
80	3-3-1	建設課	標識・照明の設置率		%	交通安全のための標識等の設置率増加(新市街地分)	100	110	105	順調	土地区画整理事業や街路事業の施行に併せて、道路照明灯や案内標識の設置を検討して行く。	100	100	100	102	105
81	3-3-1	建設課	歩道改良の延長		km	歩道有効幅員拡幅の整備路線延長による安全性の確保	-	3.6	2.40	順調	歩道改良工事を約0.2km実施した。令和2年度は新規路線の実施設計を行った。			1.86	2.20	2.40
82	3-4-1	市民協働課	防犯灯の設置数		灯	町内会が管理する防犯灯数の増加による犯罪抑止	4,000	4,800	4,712	順調	各町内会において計画的に設置が進んでいる。	4,478	4,502	4,565	4,615	4,712
83	3-4-1	環境安全課	地域ボランティア活動の実施数		回	市民の防犯意識向上	33	75	80	順調	年間を通じ、定期的かつ複数回のパトロール活動や防犯啓発活動を実施することにより、地域及び市民の防犯意識の向上を図った。(防犯協会による青パト及びイーグル隊との合同パトロール)	71	66	73	71	80
84	3-5-1	市民協働課	消費生活相談会の開催数		回/年	移動相談室の開催による消費者の安全確保	0	20	14	おおむね順調	移動相談室の開催数は増加に至っていないが、市消費生活センターの周知に努めている。また、民生委員・児童委員と連携を図り、消費者トラブルの注意喚起に努めている。	19	16	15	15	14
85	3-5-2	市民協働課	消費生活研修会の開催回数		回/年	地区老人会、町内会など各種団体での研修会を通じた消費者の意識向上	10	30	19	やや遅れている	初めて小学生向けの体験型消費者教育を開催し、内容の充実を図ったことから、個々の団体向け研修が減少してしまった。各団体に向けての研修にも努める。	23	21	23	32	19

政策4 環境について考える人が住むまち【環境】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
86	4-1-1	環境安全課	環境基本条例制定の達成度		%	条例制定の達成割合	0	100	100	順調	平成31年3月に条例を制定した。	0	0	0	100	100
87	4-1-1	環境安全課	環境基本計画制定の達成度		%	計画策定の達成割合	0	100	0	順調	環境基本条例を制定し、計画策定に向けた調査、検討を実施している。			0	0	0
88	4-1-2	環境安全課	地球温暖化対策実行計画の達成度		-	市の事務・事業により排出される温室効果ガス量の削減(対平成20年度)	100	90	106	やや遅れている	関係課と連携し、温室効果の削減を図った。今後についても、節電に向けて効果的な取り組みを検討する。	101	99	101	102	106
89	4-1-3	環境安全課	環境ボランティアの人数		人	自然環境保全に関心のある市民の増加	0	100	101	順調	環境保全団体に対し、清掃・除草等に係る支援を行い、ボランティア人数の確保に努めた。	116	62	118	106	101
90	4-1-3	環境安全課	環境ボランティアによる活動回数		回/年	自然環境保全の啓発などを行う催し物等の増加	0	12	12	順調	市と各種団体が連携し、歩道や公園の美化清掃等を行った。	12	12	2	17	12
91	4-1-4	環境安全課	家庭系ごみの排出量		g	市民1人1日あたりのごみ排出量低減	592	517	526	順調	町内会等を対象にごみ分別研修会を開催することにより、家庭系廃棄物の減量化の啓発に努めた。	546	536	529	523	526
92	4-1-4	環境安全課	事業系ごみの排出量		g	1事業所1日あたりのごみ排出量低減	7,083	6,189	8,464	やや遅れている	市内大規模店舗向けに廃棄物減量化計画書の提出の依頼や、市内事業所向けに廃棄物減量化に係る啓発チラシを配布し、排出量低減に努めている。	8,373	8,484	8,686	8,476	8,464
93	4-1-4	環境安全課	リサイクル率		%	空き缶、空き瓶等のリサイクル率向上による環境負荷の低減	13	15	8	やや遅れている	事業者による自主回収やペーパーレス化により減少傾向にある。分別方法を周知するなどリサイクル意識の高揚を図る。	10	10	11	9	8
94	4-1-5	環境安全課	家庭ごみ集積場数		箇所	家庭ごみを出しやすい環境を整備し、不法投棄を抑制	1,600	2,000	1,678	順調	8世帯以上の共同住宅の増加に伴い集積場数は増加傾向にあり、家庭ごみを出しやすい環境が整っている。	1,623	1,650	1,670	1,694	1,678
95	4-2-1	環境安全課	空き地の除草受託面積		m2	市民の自主的な解決により受託面積の減少	12,000	5,000	6,506	おおむね順調	自己処理の周知をさらに徹底する。	5,927	5,258	4,504	5,295	6,506
96	4-2-2	環境安全課	計画に基づく環境分析調査		回/年	地下水保全のための取り組み	-	1	1	順調	地下水保全計画に基づき、地下水に係る調査を行った。			1	1	1
97	4-2-3	環境安全課	墓地区画数(概数)	Ⅲ	区画	定住化志向の向上(宗教法人が設置する墓地を除く)	2,000	3,000	2,000	順調	墓地整備に併せて、検討委員会を開催した。	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
98	4-3-1	環境安全課	環境教育への参加		人	町内会が実施するごみ減量等の研修会などによる環境保全意識の高揚	100	600	775	順調	町内会や市内保育園などを対象に、ごみの分別研修会を開催した。	200	250	751	1,036	775
99	4-3-1	環境安全課	環境保全体験事業への参加		人	自然の生き物調査や水、森などの大切さを学ぶことによる環境保全意識の高揚	-	100	152	順調	各種団体に対して地下水保全教室等を開催した。	0	50	124	71	152

政策5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
100	5-1-1	学校教育課	「授業が分かりやすい」と答える児童(小6)の割合		%	授業の質の向上	81.2	85	87.0	順調	「野々市市学力向上対策」を基に管理職や研究主任等への研修を行い、組織的・継続的に授業の質の向上に努めている。	81.4	78.0	87.8	86.2	87.0
101	5-1-1	学校教育課	「授業が分かりやすい」と答える生徒(中3)の割合		%	授業の質の向上	60.6	75	73.3	おおむね順調	「野々市市学力向上対策」を基に管理職や研究主任等への研修を行い、組織的・継続的に授業の質の向上に努めている。	71.9	74.8	74.9	68.6	73.3
102	5-1-2	学校教育課	「とても人の役に立つ人間になりたい」と答える児童(小6)」の割合		%	豊かな人間性を持った児童生徒の育成	—	75	73.2	おおむね順調	道徳教育の充実と努めるとともに、自己肯定感や自己有用感を高める取組を推進している。			64.1	71.0	73.2
103	5-1-2	学校教育課	「とても人の役に立つ人間になりたい」と答える生徒(中3)」の割合		%	豊かな人間性を持った児童生徒の育成	—	78	69.0	やや遅れている	道徳科の全体計画及び年間指導計画の見直しを図り、道徳教育の充実と努めるとともに、道徳科研修会や学校訪問等で協議していく。			65.1	65.3	69.0
104	5-1-2	学校教育課	学校図書館 小学校児童一人あたりの貸し出し冊数		冊/年	読書習慣の定着	66	90	86	おおむね順調	学校図書館の整備を進め、「ののいち読書100選」、「ののいち読書ノート」、「読書ボランティアによる読み聞かせ」、「朝読書」、「図書館を活用した授業実践」などの取組が進んでいる。	86	93	100	102	86
105	5-1-2	学校教育課	学校図書館 中学校生徒一人あたりの貸し出し冊数		冊/年	読書習慣の定着	8	20	20	順調	学校図書館の整備を進め、「ののいち読書100選」、「ののいち読書ノート」、「読書ボランティアによる読み聞かせ」、「朝読書」、「図書館を活用した授業実践」などの取組が進んでいる。	19	24	24	23	20
106	5-1-3	学校教育課	全国体力・運動能力調査の結果(小5)		%	児童生徒の体力向上(全国平均50.0%)	50.1	53	51.9	おおむね順調	児童の実態に応じて運動に親しみ活動する機会を増やすことを考慮した「体力アップ1校1プラン」の取組をさらに工夫していく。	51.7	52	52.7	51.9	51.9
107	5-1-3	学校教育課	全国体力・運動能力調査の結果(中2)		%	児童生徒の体力向上(全国平均50.0%)	49.1	52	49.9	おおむね順調	生徒の実態に応じて、運動に親しみ活動する機会を増やすことを考慮した「体力アップ1校1プラン」の取組をさらに工夫していく。	51.6	51.7	51.3	51.2	49.9
108	5-1-3	学校教育課	朝食を食べる児童(小6)の割合		%	食育の推進による食生活の改善	94	95	94.8	おおむね順調	「ののいち元気家族3か条」の啓発及び栄養教諭等や養護教諭とともに、授業における食育指導の充実と努めている。	93.8	96.1	95.2	95.3	94.8
109	5-1-3	学校教育課	朝食を食べる生徒(中3)の割合		%	食育の推進による食生活の改善	85.6	90	95.5	順調	「ののいち元気家族3か条」の啓発及び栄養教諭等や養護教諭とともに、授業における食育指導の充実と努めている。	93.9	95.5	96.7	94.4	95.5
110	5-2-1	学校教育課	地域の方々と連携した授業の展開	I	回/年	本市に対する誇りと愛着心の向上	7	56	72	順調	総合的な学習の時間や道徳科において、優れた技能や貴重な体験を持つ地域人材をゲストティーチャーとして招き、児童生徒がより本市を身近に感じることのできるよう工夫している。今後はオンラインでの参画も検討する。	55	81	69	60	72
111	5-2-1	学校教育課	授業で市内施設を活用した数	I	箇所	ふるさと教育の充実	55	80	77	おおむね順調	児童生徒が市内施設を利用する校外学習を計画的かつ積極的にに行い、ふるさと教育の充実と努めている。	58	88	88	91	77
112	5-2-2	教育総務課	小中学校の大規模改造実施率		%	快適な環境の学校の増加	57	100	100	順調	平成30年度で事業を完了した。	85	85	91	100	100
113	5-2-3	生涯学習課	巡視活動を行う人数		延べ人数	青少年の問題行動の抑止	625	850	759	おおむね順調	少年育成センターと少年育成に関係する団体から推薦いただいた少年育成指導員とで細やかな巡視活動を実施している。令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で巡視回数が減ったが、概ね順調である。	840	834	980	909	759
114	5-2-3	生涯学習課	青少年ボランティア団体の加入者数		人	社会活動への気運の高揚	31	46	36	おおむね順調	高校生までのボランティア探検隊飛鳥と青年ボランティア団体gloryの共同の活動を増やし、飛鳥卒業後もボランティア活動を継続しやすい環境を整えた。	18	27	31	34	36
115	5-2-4	生涯学習課	家庭教育学級の参加人数		人	家庭教育力を向上	600	800以上	1,048	おおむね順調	講座の開催日時を比較的参加しやすい学校行事と同日や夜間の開催にすることにより、継続して参加者を確保していく。	865	963	1,014	1,274	1,048
116	5-2-4	生涯学習課	家庭教育サポーター人数		人	家庭教育力を向上	23	34	23	おおむね順調	年によって人数にバラつきがあるが、休止や復帰するサポーターがいるため流動的になっている。隔年で養成講座を行い、計画的にサポーターを確保している。	26	23	27	25	23

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
117	5-3-1	生涯学習課	講座の参加者数		人/年	市民大学校、寿大学校等への参加者増加により、社会教育を充実	858	1,750	1,196	おおむね順調	市民大学校は、天候等の突発的な事情で減少が見られたがコミュニティカレッジ参加者はおおむね順調に推移している。今後も市民のニーズを把握し企画・運営に努める。寿大学は、今後も継続して高齢者に様々な分野の学習の場を提供し充実した生涯学習を行える環境を整えていく。	1,525	1,662	1,303	1,524	1,196
118	5-3-1	生涯学習課	自主サークル数		団体/年	地区公民館、女性センター等で活動するサークル数増加により、社会教育を充実	99	108	88	おおむね順調	年度ごとに増減はあるが、会員募集チラシやHPの活用、館内掲示やイベントなどでサークルの活動の様子を来館者に見ていただき、サークルのPRを行い、登録数の増加を目指す。	98	97	95	90	88
119	5-3-1	生涯学習課	施設利用者数		人/年	図書館、地区公民館等の利用者数増加により、社会教育を充実	131,513	140,000	326,558	順調	平成31年4月のにぎわいの里のいちカミーノの開館により、利用者数が大幅に増加した。	125,573	123,841	141,392	278,721	326,558
120	5-3-1	生涯学習課	図書館ボランティア登録者数	Ⅲ	人	新図書館の運営への市民参加を促進	-	100	64	おおむね順調	若い世代の方を含め、新たに登録をいただいている反面、脱退される方もおり、活動を止めるに至った原因を分析し、継続しやすい体制を整えていく。			23	80	64
121	5-3-1	生涯学習課	新市立図書館貸出冊数	Ⅲ	冊/年	新たな利用者の呼び起こし	-	500,000	618,956	順調	豊富な蔵書と新着図書が、貸出冊数の増加につながっている。			226,804	591,548	618,956
122	5-3-2	スポーツ振興課	さわやかスポーツフェスティバル参加人数		人/年	生涯スポーツの普及	2,189	3,200	1,938	遅れている	市民の健康増進に対する関心を高めるため開会式後にソフトエアロビを実施した。また、金沢武士団や金沢学院大学からの協力を得、小学生等への指導を実施した。今後も各団体からの協力を得て参加者を増やす。	1,551	1,728	1,441	1,843	1,938
123	5-3-2	スポーツ振興課	ニュースポーツ大会参加人数		人/年	生涯スポーツの振興	107	200	0	(評価対象外)	新型コロナウイルスの影響で令和元年度の大会は中止となった。これまで行ってきたトリプルソフトバレー以外の新しい種目を取り入れ、ニュースポーツ等の普及に努める。	143	111	88	58	0
124	5-4-1	文化課	美術展出品数		点	協会員・市民による作品出品数増加による市民文化・芸術の振興	111	200	178	順調	出品案内を早期に行い、作品数が増加した。より幅広い層の市民にも広く美術活動を推進していく。	158	163	159	134	178
125	5-4-1	文化課	椿まつり入場者数		人/年	市花木「椿」を題材とした芸術文化の発信による市民文化・芸術の振興	6,000	7,000	0	(評価対象外)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	6,671	12,600	7,000	6,549	0
126	5-4-1	文化課	情報文化振興財団の自主事業数		回/年	芸術文化に親しむ機会の提供の拡充と市民協働による内容の充実	19	40	37	順調	市内の大学や団体と協働する事業を積極的に行い、市民ニーズを把握し、気軽に芸術文化及び情報通信技術に触れていたできるように取り組んだ。	35	37	37	37	37
127	5-4-2	スポーツ振興課	スポーツ少年団の団員数		人	団員増加による活性化とスポーツ人口の拡大	528	800	546	遅れている	ホームページや広報などを活用し、活動内容を広く市民に周知することにより団員の参加加入に繋げる。また、スポーツ活動だけでなく施設の清掃やゴミ拾い、総合交歓会等で、異年齢交流を深め、健全育成に努める。	614	592	567	573	546
128	5-4-2	スポーツ振興課	スポーツ少年団の指導者数		人	指導者増加による活性化と競技力の向上	104	160	168	順調	今後も指導者・保護者研修会の開催内容の工夫に努め、指導者増を図る。	147	157	177	176	168
129	5-4-2	スポーツ振興課	体育協会員の会員数		人	会員増加による協会の活性化と競技力の向上	1,210	1,800	1,302	遅れている	ホームページなどを活用し、各協会の紹介や活動内容を広く市民に周知することにより会員増加と競技力向上に努める。	1,252	1,261	1,257	1,271	1,302
130	5-5-1	文化課	文化財普及啓発活動への参加者人数		人/年	参加者の増加による文化財への愛護精神などの高揚	900	3,000	5,227	順調	カミーノで、国史跡末松廃寺跡出土「女子像が線刻された土製品」の展示を行うなど話題性のある資料を公開した。	2,439	2,512	2,145	2,468	5,227
131	5-5-1	文化課	文化財施設の利用者数		人/年	利用者増加による文化財への愛護精神などの高揚	4,400	10,000	7,602	やや遅れている	地元の方を中心に、野々市の歴史に親しんでいただけるよう活動を続けていく。	8,853	8,256	7,345	8,106	7,602
132	5-5-1	文化課	デジタル資料館へのアクセス数		人/年	貴重な文化財の存在の周知	-	5,000	3,255	やや遅れている	新たに指定された文化財等のコンテンツを追加し、野々市の文化財の周知を図る。	4,386	3,409	3,126	3,655	3,255
133	5-5-2	文化課	末松廃寺跡発掘調査の進捗率		%	発掘調査の実施	0	100	90	おおむね順調	有識者で構成される委員会の指導を受け、発掘調査を実施する。	66	83	85	88	90
134	5-5-2	文化課	末松廃寺跡の再整備率		%	史跡公園の再整備によるまちの魅力向上	0	100	64	やや遅れている	再整備に資する情報が不足しているため、発掘調査を継続し、得られた情報を踏まえ整備計画を策定する。	40	50	55	60	64
135	5-5-2	文化課	文化財説明板の設置		基	市内の文化財に設置や更新することによる、まちの魅力向上	7	56	56	順調	説明版の増設はないが、今後の増設に向けて設置計画案を作成中である。	29	40	50	56	56
136	5-5-2	文化課	喜多家住宅の重要文化財追加指定と、保存修理率		%	重要文化財追加指定・保存修理することによる文化財の活用	-	100	90	順調	令和元年12月に重要文化財に追加指定された。			50	80	90

政策6 野々市産の活気あふれるまち【産業振興】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
137	6-1-1	産業振興課	年間商品販売額	Ⅱ	億円	販売額増加による地場産業の活性化(平成26年経済センサス-基礎調査)	2,662	2,760	-	(評価対象外)	経済センサスを利用するため、本年度は数値なし。引き続き景気的情勢に注意しつつ、地場産業の活性化に努める。	-	3,171	-	-	-
138	6-1-1	地域振興課	特産品数	Ⅱ	品	地域資源活用の増加	11	20	11	やや遅れている	地場産品の販売力強化、新商品の開発意欲の増進などを促すため、平成30年度に創設したブランド認定制度の活用且つ柔軟な見直しを図ると共に特産品制度との整理・統合について検討する。	12	12	12	11	11
139	6-1-2	産業振興課	市融資(設備投資)制度利用件数	Ⅱ	件/年	経営体質・基盤の強化	4	12	5	おおむね順調	国の中小企業向け補助金や民間金融機関の融資メニューの充実などにより、目標に達していない。しかし、市制度融資はこれらに当てはまらない事業者において活用いただく制度のため、引き続き周知に努める。	9	2	1	4	5
140	6-1-2	産業振興課	新製品・販路開拓補助金交付件数	Ⅱ	件/年	経営体質・基盤の強化	3	10	13	順調	目標を達成しているが、引き続き制度周知に努める。	4	5	5	13	13
141	6-1-3	地域振興課	野々市認定ブランド商品数	Ⅱ	点	地域資源増加によるまちの魅力向上	-	10	4	おおむね順調	令和元年度は商工会女性部「ののいち草木染」が認定された。今後も野々市ブランド認定制度の周知を広く行う。	0	0	0	3	4
142	6-1-4	産業振興課	i-BIRD卒業企業の市内事業所誘致件数	Ⅱ	件	次世代産業が創出しやすい環境づくり	-	1	0	遅れている	企業立地促進助成金制度の創設など、企業立地を促進する制度の充実を図ることで事業者の移転を促しているが、結果が伴っていない。企業立地ガイドの活用や事業者の求める環境等をきめ細かく聞き取りながら誘致活動に取り組む。			0	0	0
143	6-1-4	産業振興課	産学連携事業支援件数	Ⅱ	件	地域産業の支援	-	3	0	遅れている	令和元年度からは対象を市内の大学等から県内の大学等に広げることで利用促進を図った。数件お問い合わせがあったものの大学と企業側で折り合いがつかず、実績に結び付かなかった。			2	0	0
144	6-1-4	産業振興課	企業誘致件数	Ⅱ	件	経済活性化と雇用の増大	-	1	0	遅れている	企業立地促進助成金制度の創設など、企業立地を促進する制度の充実を図ることで事業者の移転を促しているが、結果が伴っていない。企業立地ガイドの活用や事業者の求める環境等をきめ細かく聞き取りながら誘致活動に取り組む。			0	0	0
145	6-1-5	産業振興課	i-BIRD入居企業のうち本市支援企業数	Ⅱ	件/年	市内での起業を促進	-	12	12	順調	本施設への入居企業増加に伴い、賃料補助の件数が増え目標を達成した。今後も支援企業数を堅調に推移させるために、i-BIRD運営者の中小企業基盤整備機構と連携して次世代産業に取り組む企業の入居促進に取り組む。			6	8	12
146	6-2-1	産業振興課	地域特産物作付け面積	Ⅱ	a	特産物ヤーコン作付け面積増加による地域農業の活性化	20	35	21	遅れている	ヤーコンが健康野菜であることをPRし、ヤーコンの利用拡大を検討して関心を高めていく。また、他の市町村の事例も参考にし、生産者が意欲的に取り組める環境の整備に努める。	30	22	18	20.3	21
147	6-2-1	産業振興課	生産者団体による直売回数	Ⅱ	回/年	地産地消の推進	63	66	65	順調	農業者と消費者が直接触れ合う機会を増やすことにより、農業の魅力伝える良い機会となり、農業の活性化につながる。継続して取り組んでいく。	65	65	67	65	65
148	6-2-1	産業振興課	イベント参加による周知回数	Ⅱ	回/年	地産地消の推進	0	5	5	順調	農業者と消費者が直接触れ合う機会を増やすことにより、農業の魅力伝える良い機会となり、農業の活性化につながる。継続して取り組んでいく。	4	5	6	5	5
149	6-2-2	産業振興課	各関係団体との振興会議の回数		回	農業振興に関する会議により農業の充実	0	4	2	順調	関係団体の意見を取り入れながら農業振興施策を検討し、推進している。	3	3	4	3	2
150	6-2-2	産業振興課	農用地の利用集積率		%	農用地の利用増加による農業振興	-	30	29.6	順調	ホームページの活用や、利用権の期限満了の際に、土地の所有者や担い手に更新を呼びかけるなどし、集積率を上げた。			27.2	26.7	29.6
151	6-2-2	産業振興課	認定農業者の人数		人	市が認定した農業者増加による農業振興	6	13	12	おおむね順調	認定農業者を増やすことにより、農業経営の安定・効率化を図ることができることから、引き続き認定を促す。	12	12	12	12	12
152	6-2-2	産業振興課	市民(体験)農園の面積		ha	新たな担い手の育成による農業への理解向上	1.6	1.85	1.7	おおむね順調	農業に接する機会を設けることによって、農業の魅力を知ってもらい、後継者の確保や農業への理解を促す。	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7
153	6-2-2	産業振興課	特産物等のブランド化		件	市が認定するブランド品	-	1	2	順調	キウイフルーツワイン、ヤーコン焼酎が、野々市ブランドに認定されている。今後も生産の向上に努め、さらなる地場農産物による商品化に向けて検討していく。			0	0	2

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
154	6-3-1	産業振興課	有効求人倍率	Ⅲ	倍	求人の増加による雇用の確保	0.57	1.91	1.92	順調	景況感の影響を受けるものと考えられる。なお、石川労働局は、県内の雇用情勢は改善の動きに弱さが見られ、特に新型コロナウイルスが雇用に与える影響が懸念されるとの見解を示している。	1.9	2.53	2.36	2.27	1.92
155	6-3-1	産業振興課	雇用増進奨励金の交付件数	Ⅲ	件/年	雇用の増加	15	20	12	おおむね順調	窓口での案内強化など引き続き制度利用の促進に取り組む。	11	15	6	15	12
156	6-3-1	産業振興課	勤労者住宅取得支援の新規承認件数	Ⅲ	件/年	安心して生活する市民の増加	19	20	69	順調	窓口での案内強化など引き続き制度利用の促進に取り組む。			42	77	69
157	6-3-2	産業振興課	新しい働き方応援事業の啓発回数	Ⅲ	回/年	学生や女性に対し、自分らしく働くことを応援する相談会やセミナーの開催	-	1	2	順調	若者向け創業セミナーの開催に加え、令和元年度は女性と企業との就職マッチング事業を実施し、新たな働き方を応援する環境をつくった。			1	1	2
158	6-3-3	企画課	学卒者県内就職率	Ⅲ	%	地域に愛着を持って定着する学生の増加	-	46.5	39.4	やや遅れている	目標の達成とはならなかったが、金沢大学が主体となり、オールいしかわ体制でインターンシップや就職イベントを開催するなど、学生の地元就職志向を高めた。(平成26年度:36.5%、2.9%の上昇)			39.2	39.2	39.4
159	6-4-1	地域振興課	観光ボランティアガイド活動件数	Ⅱ	件	本市の魅力向上	-	20	45	順調	ボランティアガイド養成講座を含めた自主運営促進について引き続き支援する。	16	20	26	40	45
160	6-4-1	地域振興課	地場の野菜などを使用した商品を民間団体や企業などと共同開発	Ⅱ	品	本市の魅力発信	-	3	0	やや遅れている	地域資源を活用した商品開発に向けて県立大学に研究を委託している。今後も県立大学と連携し、引き続き支援を行うと共に、商品開発についても野々市ブランドとなる商品となるよう検討を続ける。			0	0	0
161	6-4-1	地域振興課	観光物産協会展示コーナーで紹介したテーマ数	Ⅱ	件	本市の魅力発信	-	4	1	おおむね順調	令和元年度については野々市ブランド認定品について、第1回目の認定ということもあり、認定品(3品)についての紹介に注力した。今後は展示品について、観光物産協会の協力を得ながら情報発信に努める。			2	4	1
162	6-4-1	地域振興課	野々市市PRキャッチコピーの作成	Ⅱ	件	市のイメージアップ	-	1	0	やや遅れている	本市の観光として現在ある地域資源や新たに発信できる素材を新たに発掘し、魅力の発信に努める。			0	0	0
163	6-4-2	地域振興課	観光物産協会など関係団体の拠点施設の整備	Ⅱ	箇所	市の魅力の発信	-	1	1	順調	拠点施設の整備は平成30年度に完了した。平成31年4月に「にぎわいの里のいちカミーノ」が開館し、季節のイベントやマルシェ、トラック市等を開催している。今後も観光や物産などの市の魅力を発信していく。			0	1	1
164	6-4-2	地域振興課	観光物産協会主催事業数	Ⅱ	回	にぎわいの創出	-	10	15	順調	北国街道などの観光資源を活用し、にぎわい創出に引き続き努める。			1	10	15
165	6-4-2	産業振興課	野々市市じよんからまつり来場者数	Ⅱ	人/年	にぎわいの向上	30,000	32,000	32,219	順調	広告看板の設置や、各種情報サイト、情報誌への掲載等の広報活動を推進し、集客の安定につなげる。	30,000 (報道発表数値)	30,643	32,516	33,335	32,219
166	6-4-2	文化課	椿まつり来場者数	Ⅱ	人/年	にぎわいの向上	-	7,000	0	(評価対象外)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。			7,000	6,549	0

政策7 くらし充実 快適がゆきとどくまち【都市基盤】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
167	7-1-1	都市計画課	地区計画数	Ⅲ	件数	地域特性に応じた市街地環境の創出	-	8	9	順調	郷二丁目地内の開発予定区域において地区計画を導入した。			6	8	9
168	7-1-1	建設課	市道歩道のバリアフリー化の延長	Ⅲ	km	バリアフリー法に基づく段差の解消や点字ブロックの設置	27	37	32	おおむね順調	令和元年度の実施設計をもとに、令和2年度は歩道の段差解消工事を約0.5km行った。			32	32	32
169	7-1-2	建築住宅課	市営住宅の新設戸数(累計)		戸	子育て世代などの居住推進などによる定住化の促進	-	40	40	順調	市営「つばきの郷住宅」の建設により、「公営住宅」と併せて、中堅所得者向けを対象とした「地域優良賃貸住宅」を整備した。隣接する施設との相互効果により、子育て環境の充実と世帯の定住化促進に寄与している。	40	40	40	40	40
170	7-1-2	都市計画課	地区計画や各種協定の導入地区		地区	良好な居住環境が確保された地区の増加	7	10	11	順調	郷二丁目地内の開発予定区域において地区計画を導入した。	8	8	8	10	11
171	7-1-3	建設課	無電柱化地区数		箇所	幹線道路沿線の無電柱化による景観の向上	8	10	8	おおむね順調	効果的な整備に向け、大規模な道路改良事業に合わせて実施を検討する。	8	8	8	8	8
172	7-1-3	建設課	道路愛称の設置数		路線	道路愛称による、市や道路への愛着の向上	6	9	6	おおむね順調	土地区画整理事業及び街路事業に伴う都市計画道路整備に合わせて実施する。			6	6	6
173	7-1-4	都市計画課	市民一人当たりの公園・緑地面積		m2/人	憩いや安らぎのある緑地の増加	6	8	6	おおむね順調	令和元年度は新たな公園・緑地の整備は無かったが、今後、中林地区及び西部中央地区の土地区画整理事業により新たに整備が予定されている。	6	6	6	6	6
174	7-1-4	都市計画課	リニューアルされた公園数		箇所	市民ニーズに応じ、公園施設や遊具を改修し、快適な公園を増加	1	5	5	順調	園路やトイレの改修等、遊具以外の施設更新も含めた公園のリニューアルについて、目標とした5公園(堀内東公園、押野中央公園、北横宮公園、野々市中央公園、粟田中央公園)が完了している。	3	3	4	5	5
175	7-1-4	都市計画課	アダプトプログラム締結団体数		団体	市民の手による公園の管理の増加	5	8	6	おおむね順調	令和元年度は新たに1団体とアダプトプログラムを締結した。	5	5	5	5	6
176	7-2-1	都市計画課	都市計画道路整備延長		km	市内の円滑な交通流動を図るための増加	43	46	47	順調	令和元年度にて、四十万末松線の供用開始、堀内上林線の一部整備を行った。引き続き、現在施工中である2地区の土地区画整理事業と街路事業により都市計画道路の整備を行う。	45	45	45	46	47
177	7-2-1	建設課	狭あい道路の整備箇所数		箇所	密集住宅市街地の狭あい道路の解消	-	50	65	順調	計画的に整備を進め、平成29年度に目標値を達成した。	29	42	50	57	65
178	7-2-1	建設課	道路附属施設・橋梁の修繕箇所数		箇所	点検結果に基づいた予防的な修繕による延命化	-	144	165	順調	遊歩道の街路灯のLED化を推進した。今後は水銀灯の生産中止に伴いLED化を推進していく。			54	104	165
179	7-2-2	建設課	消雪装置設置済の路線延長		km	降雪が交通の妨げにならない路線の増加	49	52	52	順調	令和元年度に目標を達成したが、今後も継続して新設幹線道路を中心に整備を進め、消雪路線のネットワーク化に取り組む。	50	50	50	50.8	52
180	7-2-2	建設課	アダプトプログラム締結団体数		団体	市民の手による除雪体制の強化	5	15	15	順調	令和元年度に目標を達成したが、今後も平成30年度に拡充した小型除雪機購入費補助金の活用促進とあわせて、市民団体に周知していく。	13	13	14	14	15
181	7-2-2	建設課	除雪ステーションの設置数		箇所	除雪機械保有台数の確保	-	2	0	やや遅れている	「30豪雪を検証する会」にて30豪雪での対応を報告した結果、現状の施設で対応可能と判断しているが、除雪ステーションの設置数自体はゼロ箇所であることから、「やや遅れている」と評価している。			0	0	0
182	7-2-3	地域振興課	コミュニティバス利用者数		万人/年	公共交通の利用者数増加(コミュニティバス)	15	21	21	順調	年々、コミュニティバスの存在がより多くの人に定着し、身近で便利な交通手段として利用されている。	20	20	21	21	21

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
183	7-2-3	地域振興課	JR北陸本線平均利用者数		人/日	公共交通の利用者数増加(JR野々市駅)	2,618	3,200	4,000	順調	駅周辺の整備による利便性の向上や北陸新幹線開通により、年々利用者が増加している。	3,164	3,516	3,762	3,892	4,000
184	7-2-3	地域振興課	北陸鉄道石川線平均利用者数		人/日	公共交通の利用者数(北陸鉄道石川線市内3駅合計)(H23の700人をピークに減少傾向にあり、利用者数の下げ止まりを図る)	591	650	684	順調	引き続き、事業者・利用者団体による利用促進活動に取り組んでいきたい。	662	652	708	735	684
185	7-3-1	建設課	雨水幹線の整備面積		ha	都市型水害の発生抑制	196	225	198	おおむね順調	押野2号雨水幹線の整備に向け、基本設計を基に、関係機関と協議を行っている。	198	198	198	198	198
186	7-3-1	建設課	雨水排水量の抑制		%	雨水流出量の抑制	0	-3	-3	順調	水災害の減災を図るため、公共施設への雨水の排水機能を充実させ、河川などへの負担を軽減できるよう実施している。	0	0	0	-2	-3
187	7-4-1	上下水道課	老朽化施設の更新		箇所	老朽化した自己水源井の更新	-	4	4	順調	2号水源の外構工事及び、旧2号水源導水管の撤去工事が完了し、順調に実施できている。			1	2	4
188	7-4-2	上下水道課	処理区域面積		ha	下水道処理区域の拡大による快適な住環境の整備	990	1159	1,114	おおむね順調	土地区画整理事業関連(西部中央地区・中林地区)において、都市計画道路等の築造工事に併せて、汚水管布設工事を実施していく。	1,089	1,097	1,098	1,106	1,114
189	7-4-2	上下水道課	下水道普及率		%	普及率増加による快適な住環境の整備	90	98	98	順調	未接続世帯について、戸別訪問の実施を通して、理解を得られるよう継続的に進めていく。	96	96	97	97	98
190	7-4-3	上下水道課	石川中央都市圏での連携事業の検討・推進		件/年	連携による水道事業と上下水道事業の基盤の強化	-	1	1	おおむね順調	定期的に協議を実施しており、上下水道工事業者の指定業務を4市2町で事務手続きを画一化し、事業基盤強化に努めている。			1	1	1

政策8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況 (直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
191	8-1-1	秘書室	一部事務組合への職員派遣数		人	広域的な事務を行うための人的支援の維持	1	1	1	順調	平成18年度から派遣を開始し、継続して現在も派遣している。	1	1	1	1	1
192	8-1-1	企画課	石川中央都市圏ビジョンの個別事業		事業	圏域に生活する住民に対する広域的な行政サービスの拡充	-	59	71	順調	石川中央都市圏ビジョンに基づき、「金沢広域急病センター」の開設や「石川中央都市圏公共施設等総合管理広域連携推進計画」の策定等、多様な分野での連携が推進された。			60	62	71
193	8-1-2	市民課	マイナンバーカードの発行枚数		枚	窓口の混雑解消による市民満足度向上	-	5,500	6,329	順調	イベント時の啓発や申請受付、休日に申請受付や発行を行う休日窓口の開設により、発行枚数が増加している。			4,294	5,047	6,329
194	8-1-2	市民課	広域窓口サービスの利用件数		件	申請手続きの軽減	2,300	4,000	3,037	おおむね順調	多様化する住民ニーズに応じた広域窓口サービスは、安定した利用を維持している。	3,190	3,135	3,224	3,250	3,037
195	8-1-3	市民協働課	市公式ホームページのアクセス数		万件/年	市政への関心度の向上	159	200	256	順調	平成30年3月のホームページリニューアルの影響もあり、アクセスは伸びており、市政への関心が高まっている。	183	186	198	215	256
196	8-1-3	市民協働課	市政ふれあいミーティング開催数		回/年	市民と市長の直接対話による市政への関心度の維持	12	14	35	順調	市政への関心が高まり、市民と市長が直接対話する機会が増えている。	12	8	14	16	35
197	8-1-3	市民協働課	外国語ページへのアクセス数		件/年	市政に関心のある外国人住民の増加	-	600	587	おおむね順調	外国人住民の市政への関心を高めるため、国際交流員を中心に情報発信に取り組んでいる。			603	650	587
198	8-1-3	市民協働課	市公式フェイスブックページへの「いいね！」数		件	市政に関心のある市民の増加	-	1,500	1,423	順調	1日1投稿以上を継続し、市政に関心を持つ市民が増えている			1,245	1,323	1,423
199	8-1-4	市民協働課	市民向けメール配信サービス発信回数		件/年	市政に関する情報を入手したいと考える市民の増加	100	500	666	順調	目標値を超える回数の配信を実施している	467	510	645	570	666
200	8-1-4	市民協働課	報道発表件数		件/年	報道機関への市政情報提供による広報活動の向上	212	300	256	おおむね順調	新型コロナウイルスの流行を受け、年度末に事業が減少した影響もあるが、市政の情報提供は適切に行っている。	257	261	300	290	256
201	8-1-4	市民協働課	パブリックコメントへの意見数		件	市の政策への市民による自発的なかわりの増加と広聴活動の向上	59	60	1	やや遅れている	計画によってはパブリックコメントの周知期間や周知方法に不足が認められる。各担当課でパブリックコメントを実施する際、市民への十分な周知が必要である。			4	18	1
202	8-1-5	秘書室	コンプライアンスの推進体制		%	法を遵守する職員の教育と研修などを通じた体制の整備率	0	100	100	順調	コンプライアンス研修を全職員が受講し、職員の意識向上を図るとともに、懲戒指針の厳格で公正な運用に努めている。引き続き、職員の意識喚起に努めていく。	0	25	25	50	100
203	8-1-5	秘書室	庁内、外部からの公益通報件数		件	コンプライアンスに対する通報件数の維持	0	0	0	順調	現状維持に努める。	0	0	0	0	0
204	8-1-6	秘書室	1年以内に縦割り行政の弊害を感じたことのある職員の割合		%	職員から見た効率的な行政機構の完成度	-	10	14.8	おおむね順調	「のいち創生総合戦略」を推進する上で、野々市ブランドの確立等を図るための体制強化として、平成30年度に企画振興部の再編を行い、その推進体制を維持している。	38.4	35.2	36.0	19.6	14.8

No.	施策番号	成果指標を管理する所属	成果指標	重点プロジェクト	単位	指標の説明	平成22年度実績値(基準値)	令和3年度目標値	令和元年度実績値	目標値の達成状況	実施状況等	進捗状況(直近の5カ年のみ表示)				
												H27	H28	H29	H30	R1(再掲)
205	8-1-6	秘書室	迅速で適切な行政サービスを受けていると感じる市民の割合		%	市民から見た効率的な行政機構の完成度(市民意識調査)	-	65	44.5	やや遅れている	多様化する市民の行政ニーズに対応できる組織づくりに努める。	61.6	-	-	-	44.5
206	8-2-1	秘書室	若手職員の3職場経験者の割合		%	採用後の10年間で3つ以上の職場を経験した若手職員の割合増加	82	100	42.9	おおむね順調	資格を有する職員については資格の活用を重点をおくため、3職場以上を経験させることが難しい場合があるが、極力人事異動に配慮している。	85.7	71.4	50.0	75.0	42.9
207	8-2-2	秘書室	専門資格取得者の割合		%	資格取得者数の割合の増加による職員の資質向上	4	25	13.90	おおむね順調	業務に必要な専門資格取得者を計画的に採用している。	12.80	13.30	13.90	14.10	13.90
208	8-2-2	秘書室	研修計画による自己啓発研修参加職員の割合		%	職員の資質向上	1.9	15	9.9	おおむね順調	職員研修概要に基づき研修への参加を促しているが、その年度の人事異動や業務内容・研修内容により、受講率に増減が生じる。目標値に近づきよう受講の啓発に努める。	4.3	8.8	9.7	12.0	9.9
209	8-2-2	秘書室	評価者研修の定期的な実施		回/年	適正な評価による職員の熱意向上	1	1	1	順調	評価者に対する研修を毎年実施している。	1	1	1	1	1
210	8-3-1	税務課	市税の徴収率(現年度課税分)		%	近隣市の平均値以上	97.9	99.1以上	99.21	おおむね順調	現年分の滞納者に重点的に催告、滞納処分を積極的に行ったことから、徴収率の回復、滞納税の圧縮につながった。	98.91	99.05	99.22	99.11	99.21
211	8-3-1	財政課	適正な使用料、手数料の調査検討		%	見直しが必要と見込まれる使用料、手数料を調査、検討による適正な行政運営	0	100	100	順調	使用料について、有識者を含めた検討会からの意見を踏まえ条例改正を行い、令和2年度から新料金が適用されている。手数料は、今後適宜検討する。	100	100	100	100	100
212	8-3-1	総務課	事業残地等の有効活用、処分率		%	事業残地等の有効活用と処分の総面積(1,135㎡)	0	100	99.8	順調	今後とも事業残地の有効活用・処分に努めていく。	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
213	8-3-1	財政課	ガバメントクラウドファンディング実施事業数		事業	ガバメントクラウドファンディングにより実施した事業数	-	2	0	やや遅れている	予算編成時において対象事業の検討を行ったが、令和元年度については該当がなかった。令和2年9月から実施した返礼品を伴うふさと納税制度に合わせて、改めて対象とできる事業の精査を行う。				0	0
214	8-3-1	総務課	ふるさと納税件数		件	市に愛着を持つ人の増加	-	20	12	おおむね順調	令和2年度より開始した返礼品を伴うふさと納税制度を活用し、市の特産品のPRや販路の拡大、市の魅力の発信を行い、もって野々市ファンの獲得と地域の活性化を図る。				12	14
215	8-3-1	企画課	企業版ふるさと納税件数		件	市に愛着を持つ企業の増加	-	3	66	順調	概ね70件前後で推移しており、今後も、市に愛着を持っていただき、市と関わりを持ちたいと考える事業者を増やせるよう、市の魅力向上のための取組を推進する。				72	70
216	8-3-2	財政課	実質公債費比率		%	公債費による財政負担の程度を表す比率18%以上で地方債の発行に一定の制限がかかる	8.2	10.0以内	6.8	順調	適正な財政運営を行っている。	5.4	5.5	5.6	6.2	6.8
217	8-3-2	財政課	将来負担比率		%	自治体が将来負担する借金などの1年間の収入に対する比率(350%になると黄信号)	34.1	60.0以内	28.6	順調	適正な財政運営を行っている。	16	19.4	33.7	36.5	28.6
218	8-3-2	財政課	経常収支比率		%	財政構造の弾力性を判断するための比率(高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す)	87.4	98.0以内	97.1	やや遅れている	現状のままでは目標値を超える見込みである。歳入増加及び歳出削減について、令和3年度当初予算編成において対策に着手する。	86	91	93.9	95.8	97.1
219	8-3-3	企画課	申請書類の電子化件数		件	申請書類の電子化による市民の利便性向上	1	10	26	順調	電子申請件数は増加傾向にある。令和元年度においては新たに介護保険関係の11手続きをマイナポータル(びったりサービス)にて電子申請可能とした。	1	1	14	15	26
220	8-3-3	企画課	情報セキュリティに対する理解度が中級以上の職員の割合		%	情報セキュリティに対する職員の理解度向上による適切な情報保護	-	80	79	順調	平成30年度より、保育士を除くすべての職員がeラーニングの研修を受講している。今後も職員が漏れなく受講するよう、受講管理を継続する。	75	81	80	78	79
221	8-3-4	教育総務課	教育ユニバーサルプランの達成度		%	プランの達成割合	0	100	27	おおむね順調	社会環境の変化や市民ニーズに対応するため、平成29年度中に中間評価を実施。目標を達成した一部の事業について、目標の引き上げをしたことにより、一時的に目標達成率は減少したものの、平成30年度以降は改善している。	27	31	15	24	27
222	8-3-5	企画課	行政改革大綱実施計画(第5次)の達成度		%	行政改革大綱実施計画(第5次)の達成割合	0	100	85.7	(評価対象外)	平成28年度に計画期間を満了し、平成29年度以降は行政改革大綱(第6次)を推進している。	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7
223	8-3-5	企画課	行政改革大綱実施計画(第6次)の達成度		%	行政改革大綱実施計画(第6次)の達成割合	-	100	96.9	順調	32の推進項目のうち、31の推進項目について「当初の計画どおり進んでいる」と評価している。今後も、進捗状況を適切に把握して全庁一体となって行政改革を進めていく。				96.9	96.9
224	8-3-6	企画課	市政に対する市民満足度		%	市政に満足する市民の割合(市民意識調査)	94	96	92.1	遅れている	目標値には達していないことから、本市の地域資源の更なる充実を図り、市の魅力向上のための取組を推進する。	91.3	-	-	-	92.1